

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中島町計画	階数	地上14F、地下1F
建設地	広島県広島市中区中島町4番1、4番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	117 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2015年8月14日
敷地面積	515 m ²	作成者	前田建設工業(株)関西支店 福家 武
建築面積	382 m ²	確認日	2015年9月2日
延床面積	4,423 m ²	確認者	前田建設工業(株)関西支店 竹内 文夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	77%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

音環境	3.1
温熱環境	4.3
光・視環境	3.3
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.8
耐用性	2.9
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	2.7
周辺環境	3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 2.4	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 ペアガラスの採用や屋根、壁、床に十分な断熱をするなど、建物の熱負荷低減に配慮した。/住戸の外部建具について、出来る限り、設置することにより、自然採光を積極的に取り入れるよう配慮した。/照明器具はLEDを中心とした高効率な器具を採用し、無駄のないエネルギー使用を実現した。/高効率なガス給湯機器を採用し、エネルギーの削減を図った。/構造耐力上主要な部分の基礎杭について、高炉セメントを採用する事により、資源リサイクルに配慮した。/ライフサイクルCO ₂ の削減に努め、光害対策に配慮した。	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内に、緑化をできる限り設けることにより、ヒートアイランド対策に配慮した。/建物利用者のための適切な自転車置場や駐車スペースを確保した。	設計の計画上特段に配慮した事項 コンクリートの躯体材用について、劣化対策等級3相当とした。/空間にゆとりを持たせる為、各階の階高を3m以上確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される